

《例一2》

幻覚作用等をきたす薬物等を販売等するものではないこと等に関する表明・確約書

貸主 殿

物件名称 :  
所在地 :  
借主住所 :  
氏名 :

1 私(当社)は、現在又は将来に亘って、〇〇年〇〇月〇〇日付賃貸借契約に係る建物(物件)で興奮、幻覚、陶酔その他これらに類する作用をきたす薬物等を販売、譲渡、製造、栽培、吸引、展示等の目的で所持するものに該当しないことを表明、確約いたします。

2 私(当社)は、下請け又は再委託先(下請け又は再委託契約が数次にわたるときは、その全てを含む。以下同じ。)が、次の各号のとおりであることを表明、確約いたします。

- ① 下請け又は再委託先が、現在または将来に亘って1項を遵守すること。
- ② 下請け又は再委託先が前号を遵守していないことが判明した場合には、直ちに契約を解除し、又は契約解除のための措置をとること。

3 私(当社)は、これら各号のいずれかに反したと認められることが判明した場合及び、この表明・確約が虚偽の申告であることが判明した場合は、貴社(貴殿)より、催告なしでこの取引が停止され又はこの契約が催告なしで解約されても一切異議を申し立てず、また賠償ないし補償を求めないとともに、これにより契約を交わす相手方に損害が生じた場合は、一切私の責任とすることを表明、確約いたします。

平成 年 月 日

署名

④

(注1) 販売等＝販売、譲渡、製造、栽培、吸引、展示等をいう

(注2) 契約相手(乙)の連帯保証人については、必要に応じ作成することとさせていただきます。

(注3) 契約の主体によって、「私」、「当社」を使い分けてください。